

会計名			資源回収所搬入路整備事業				担当部		産業環境部	
一般会計							担当課		ごみ減量推進課	
款	項	目					担当係		資源・管理係	
4	2	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業環境							
		基本施策	環境							
		施策の内容	循環型社会の形成推進							
	目的	資源回収所利用者の安全性向上及び周辺道路における搬入車両の滞留等の解消を図る。				主たる内容	河川堤から資源回収所の西側に乗り入れることができる搬入路を整備する。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者						事業期間	令和5年度～令和7年度		
実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
					・整備工事（R5繰越分） ・実施設計		（R6繰越分） ・整備工事			
	成果	資源回収所の渋滞緩和のため、搬入路再整備に向けて実施設計を行い、整備工事に着手した。								
	課題	資源回収所の適切な運営に努める。								
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	活動指標	事業進捗率（％）					—	10.0	100.0	
	活動指標									
	他市との比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
事業費 ①		0	0	22,526	30,600	合計 22,525,800 円				
財源		特定財源	0	0	7,126	30,600	委託料 7,125,800 円			
		一般財源	0	0	15,400	0	工事請負費 15,400,000 円			
職員人件費 ②		0	77	80	931					
総事業費（①＋②）		0	77	22,606	31,531					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0	前年度繰越金					
		8年度以降の事業費見込		0						

会計名			資源回収所搬入路整備事業	担当部	産業環境部
一般会計				担当課	ごみ減量推進課
款	項	目		担当係	資源・管理係
4	2	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	資源回収所周辺道路における交通事故等のリスクを解消するために必要な事業である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		高い	新たな搬入路を整備することで、市民が安全に資源ごみを搬入することができる。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	市民にとって安全かつ利用しやすい施設を整備することで、資源ごみの分別搬入を促す効果も期待でき、循環型社会の形成に繋がるものである。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		普通	資源回収所の適正な管理のために必要な事業である。
	今後の方向性		■ 拡充 □ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止		
	設計業務委託の成果に基づき関係機関と協議を進め、安全かつ効率的な搬入路整備に向けた事務を進めていく。				

会計名			施設改修事業				担当部		産業環境部			
一般会計							担当課		ごみ減量推進課			
款							項目		担当係		資源・管理係	
4							2		3			
PLAN 事業概要 計画	A	総合計画 施策体系	分野	産業環境								
			基本施策	環境								
			施策の内容	循環型社会の形成推進								
		目的	環境センターを改修し、し尿及び浄化槽汚泥を安定的かつ効率的に処理する。			主たる内容	○脱水汚泥等処理機能改修工事					
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画									
		根拠法令	刈谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例									
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和6年度～令和7年度				
		実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画	B	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
							・改修工事 ・駐車場看板設置工事		(R6繰越分含む) ・改修工事			
成果			し尿及び浄化槽汚泥処理を安定的かつ効率的に処理するために環境センター改修工事の発注及び着手をした。利便性の向上を図るため、身体障がい者用駐車スペースに看板を設置し、利用しやすい施設になるように努めた。									
課題												
指標名称（単位）				実績値		目標値						
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度				
成果指標			事業進捗率（％）				—	10.0	100.0			
活動指標												
他市との比較検証												
C 事業コスト			V	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①			0	0	62,472	287,819	合計	62,472,300 円			
	財源	特定財源		0	0	0	235,319	工事請負費	62,472,300 円			
		一般財源		0	0	62,472	52,500					
	職員人件費 ②			0	0	0	0					
	総事業費（①＋②）			0	0	62,472	287,819					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称							
		6年度までの累積事業費		0								
		8年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設改修事業	担当部	産業環境部	
一般会計				担当課	ごみ減量推進課	
款	項	目		担当係	資源・管理係	
4	2	3				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	施設の老朽化によりし尿及び浄化槽汚泥を安定的に処理することが難しくなってきたため、改修を行う。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	し尿及び浄化槽汚泥を安定して効率的に処理できる施設となる。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	市の保有する施設であり、市民の生活に関わるものであるため。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	し尿及び浄化槽汚泥を安定して効率的に処理できる施設となる。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☒ 終期設定 ☐ 休止・廃止			
	工期：令和6年7月2日～令和8年2月1日					

会計名			ごみ散乱防止・減量推進事業				担当部		産業環境部			
一般会計							担当課		ごみ減量推進課			
款	項	目					担当係		減量・収集係			
4	2	1										
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業環境									
		基本施策	環境									
		施策の内容	循環型社会の形成推進									
	目的	ごみの散乱防止及び減量の啓発を図る。				主たる内容	○ごみ散乱防止推進員による啓発指導 ○530運動をはじめとする清掃活動の推進 ○ごみ散乱防止推進員会議の開催 ○ごみ減量化推進会議の開催 ○監視カメラ等の設置及び維持管理					
		位置づけ										
		関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画、ごみ散乱防止実施計画									
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、空き缶等ごみ散乱防止条例、ごみ減量化推進会議設置要綱									
	対象者		市民及び地区			事業期間		平成8年度～				
	実施方法		■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 ■その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績			6年度実績			7年度計画		
・ごみ散乱防止推進員を35人委嘱（うち15人が新任） ・ごみ散乱防止推進員会議書面会議 ・ごみ減量化推進会議年2回		・ごみ散乱防止推進員を35人委嘱（うち8人が新任） ・ごみ散乱防止推進員会議年1回 ・ごみ減量化推進会議年3回			・ごみ散乱防止推進員を35人委嘱（うち22人が新任） ・ごみ散乱防止推進員会議年1回 ・ごみ減量化推進会議年2回			・ごみ散乱防止推進員を35人委嘱 ・ごみ散乱防止推進員会議年1回 ・ごみ減量化推進会議年2回				
成果		ごみ散乱防止推進員が地域と行政とのパイプ役となりながら、各地区における啓発指導や清掃活動及び不法投棄防止に積極的に取り組み、環境美化の推進が図られた。また、ごみ減量化推進会議において、実績報告、意見聴取を行い、ごみの減量化施策についての情報共有を図った。										
課題		啓発看板等の設置やごみ散乱防止のパトロールを定期に実施し、ごみ散乱・不法投棄の減少に努めたが、ごみ散乱・不法投棄に関する苦情件数の目標値（50件）を上回る苦情があった。苦情件数の減少を目指し、より一層の不法投棄防止のための啓発を行っていかなければならない。										
指標名称（単位）					実績値			目標値				
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
成果指標		ごみ散乱・不法投棄に関する苦情件数（件）					53	57	95	50	50	
指標												
他市との比較検証		安城市、高浜市、知立市などにおいてもごみ散乱防止や環境美化の推進を役割とした委嘱を行っている。										
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳				
	事業費 ①		318	1,015	817	1,191	合計		817,418 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費		567,300 円			
		一般財源	318	1,015	817	1,191	需用費		250,118 円			
	職員人件費 ②		904	1,381	1,433	2,592						
	総事業費（①+②）		1,222	2,396	2,250	3,783						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称						
		6年度までの累積事業費		0								
8年度以降の事業費見込		0										

会計名			刈谷知立環境組合分担事業				担当部		産業環境部		
一般会計							担当課		ごみ減量推進課		
款	項	目					担当係		資源・管理係		
4	2	2									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業環境								
		基本施策	環境								
		施策の内容	循環型社会の形成推進								
	目的	市内で発生したごみを処理する役を担う刈谷知立環境組合を運営することにより、ごみの適正処理を図る。				主たる内容	刈谷知立環境組合の運営に資する事業費の分担金を負担する。				
		位置づけ									
		関連計画									
	根拠法令										
	対象者		刈谷知立環境組合				事業期間		昭和41年度～		
	実施方法		☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☒ その他								
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績			6年度実績			7年度計画	
分担金 ・刈谷市 1,080,488千円 ・知立市 600,821千円		分担金 ・刈谷市 1,034,624千円 ・知立市 576,258千円			分担金 ・刈谷市 972,034千円 ・知立市 539,435千円						
成果		分担金を適正に支出することができた。									
課題											
指標名称（単位）					実績値			目標値			
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
活動指標		可燃ごみ処理量（t）				42,443	40,919	40,679	40,406	39,752	
活動指標		粗大ごみ処理量（t）				2,382	1,918	1,814	1,786	1,731	
他市との比較検証		令和6年度分担金 刈谷市 972,034千円 知立市 539,435千円									
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費①		1,080,488	1,034,624	972,034	1,023,630	合計 972,034,000 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 972,034,000 円				
		一般財源	1,080,488	1,034,624	972,034	1,023,630					
	職員人件費②		753	767	796	810					
	総事業費（①＋②）		1,081,241	1,035,391	972,830	1,024,440					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0							
		8年度以降の事業費見込		0							

会計名			廃棄物システム管理事業				担当部		産業環境部	
一般会計							担当課		ごみ減量推進課	
款	項	目					担当係		減量・収集係	
4	2	2								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業環境							
		基本施策	環境							
		施策の内容	循環型社会の形成推進							
	目的	ごみ・し尿処理手数料システム及びごみステーション等管理システムを活用し、関係事務を適正かつ効率的に執行する。					主たる内容	○システムの保守管理		
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例							
	対象者		対象者を限定せず				事業期間	平成19年度～		
実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
	・データ更新、システム保守管理		・データ更新、システム保守管理 ・システム改修		・データ更新、システム保守管理		・データ更新、システム保守管理			
	成果	システムの導入により、ごみ処理及びし尿処理手数料の情報の共有管理及び有効活用が図られているとともに、ごみ・し尿処理手数料の徴収事務を適正かつ円滑に行うことができた。								
	課題									
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	成果指標	ごみ処理手数料関連システム管理件数（件）		340	324	311	311	311		
	成果指標	し尿処理手数料関連システム管理件数（件）		1,076	968	963	963	963		
	他市との比較検証		本市独自のシステムを導入している。							
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
事業費①		1,107	4,653	1,155	3,100	合計 1,154,571 円				
財源		特定財源	0	0	0	0	委託料 997,920 円			
		一般財源	1,107	4,653	1,155	3,100	使用料及び賃借料 156,651 円			
職員人件費②		1,619	1,650	1,712	1,547					
総事業費（①+②）		2,726	6,303	2,867	4,647					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0						
	8年度以降の事業費見込		0							

会計名			自動車購入等事業				担当部		産業環境部	
一般会計							担当課		ごみ減量推進課	
款	項	目					担当係		資源・管理係	
4	2	2								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業環境							
		基本施策	環境							
		施策の内容	循環型社会の形成推進							
	目的	老朽化した公用車を更新する。				主たる内容	業務の安全確保及び円滑化を図るため、ごみ収集用・不燃物埋立場管理用等として公用車（塵芥車等）を更新する。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市職員				事業期間	～		
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画V	4年度実績	5年度実績		6年度実績		7年度計画				
		・フォークリフト 1台 （R3線越分） ・塵芥車 1台		・塵芥車 2台 （R5線越分） ・塵芥車 1台		・業務車 2台				
	成果	更新計画に基づき必要車両を購入した。								
	課題	物価上昇や半導体不足等の影響により、車両価格の高騰や納期の遅延が懸念される。								
	指標名称（単位）		実績値			目標値				
			4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
	指標									
	指標									
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		14,417	0	33,218	3,961	合計	33,217,754 円		
	財源	特定財源	9,469	0	0	0	役務費	23,694 円		
		一般財源	4,948	0	33,218	3,961	備品購入費	33,194,060 円		
	職員人件費 ②		791	614	637	1,215				
	総事業費（①＋②）		15,208	614	33,855	5,176				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0						
		8年度以降の事業費見込		0						

会計名			ごみ収集業務事業				担当部	産業環境部		
一般会計							担当課	ごみ減量推進課		
款	項	目					担当係	減量・収集係		
4	2	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業環境							
		基本施策	環境							
		施策の内容	循環型社会の形成推進							
	目的	可燃ごみ等を分別収集し、ごみの減量やりサイクルの推進を図る。				主たる内容	○ごみの適正な分別排出の周知啓発 ○可燃ごみ、不燃ごみ、空き缶・金属類及びアルミ缶の分別収集			
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画							
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、刈谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例							
		対象者	市民及び事業者			事業期間	昭和41年度～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 O 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
	・ごみ分別収集協力報償金を全地区に交付 ・クリーンカレンダー、ごみの分け方・出し方ガイドブックの作成・全戸配布 <収集量> ・可燃ごみ 24,844 t ・不燃ごみ 735 t ・空き缶・金属類 191 t ・アルミ缶 88 t		・ごみ分別収集協力報償金を全地区に交付 ・クリーンカレンダーの作成・全戸配布 <収集量> ・可燃ごみ 23,544 t ・不燃ごみ 689 t ・空き缶・金属類 179 t ・アルミ缶 84 t		・ごみ分別収集協力報償金を全地区に交付 ・クリーンカレンダー、ごみの分け方・出し方ガイドブックの作成・全戸配布 <収集量> ・可燃ごみ 23,048 t ・不燃ごみ 646 t ・空き缶・金属類 158 t ・アルミ缶 75 t		・ごみ分別収集協力報償金を全地区に交付 ・クリーンカレンダーの作成・全戸配布 <収集量> ・可燃ごみ 22,824 t ・不燃ごみ 646 t ・空き缶・金属類 158 t ・アルミ缶 75 t			
	成果	ごみの分別やりサイクルに対する意識向上が図られた。								
	課題	地域や集合住宅管理者等と連携を図り、ごみの発生抑制及び適正な分別排出の一層の促進が求められる。								
	指標名称（単位）			実績値			目標値			
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
	成果指標	ごみ処理量（t）		49,815	47,592	47,045	46,744	46,035		
	指標									
	他市との比較検証	処理しなければならないごみの1人1日当たりの排出量（4年度838g⇒5年度796g）は県平均（4年度709g⇒5年度677g）を上回っており、一層のごみの発生抑制及び適正な分別排出の促進を図る必要がある。								
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
事業費 ①		404,797	402,294	433,239	458,817	合計	433,239,138 円			
財源		特定財源	7,010	5,714	5,339	5,025	報酬	37,183,548 円		
		一般財源	397,787	396,580	427,900	453,792	職員手当等	12,090,435 円		
職員人件費 ②		105,409	108,187	112,286	120,429	報償費	5,072,540 円			
総事業費（①+②）		510,206	510,481	545,525	579,246	旅費	452,890 円			
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称		需用費	31,164,494 円	
		6年度までの累積事業費		0		ごみ処理手数料、粗大ごみ処理手数料、自動車事故共済保険金収入、広告料収入		役務費	1,120,505 円	
	8年度以降の事業費見込		0				委託料	345,608,358 円		

会計名			ガラスビン収集処理事業				担当部		産業環境部	
一般会計							担当課		ごみ減量推進課	
款	項	目					担当係		減量・収集係	
4	2	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業環境							
		基本施策	環境							
		施策の内容	循環型社会の形成推進							
	目的	空きビンを分別収集処理し、ごみの減量やリサイクルの推進を図る。				主たる内容	〇空きビンの収集運搬及び中間処理			
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画							
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
	対象者		市民			事業期間		昭和57年度～		
実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
	・月2回収集 ・収集量 608 t ・処理量 680 t（資源回収所直接搬入分の72 tを含む）		・月2回収集 ・収集量 597 t ・処理量 682 t（資源回収所直接搬入分の85 tを含む）		・月2回収集 ・収集量 564 t ・処理量 645 t（資源回収所直接搬入分の81 tを含む）		・月2回収集 ・収集量 564 t ・処理量 645 t			
	成果		ごみの発生抑制やガラスビンのリサイクルを推進し、不燃物埋立場の埋立てへの減容が図られた。							
	課題		地域や集合住宅管理者等と連携を図り、ごみの適正な分別排出の一層の促進が求められる。							
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	活動指標	収集量（t）			608	597	564	564	564	
	成果指標	処理量（t）			680	682	645	645	645	
	他市との比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
事業費 ①		42,699	43,026	44,180	45,727	合計	44,179,912 円			
財源		特定財源	0	0	0	0	委託料	44,179,912 円		
		一般財源	42,699	43,026	44,180	45,727				
職員人件費 ②		2,071	2,394	2,588	2,778					
総事業費（①＋②）		44,770	45,420	46,768	48,505					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0						
		8年度以降の事業費見込		0						

会計名			ペットボトル収集処理事業				担当部	産業環境部	
一般会計							担当課	ごみ減量推進課	
款	項	目					担当係	減量・収集係	
4	2	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業環境						
		基本施策	環境						
		施策の内容	循環型社会の形成推進						
	目的	ペットボトルを分別収集処理し、ごみの減量やリサイクルの推進を図る。				主たる内容	○ペットボトルの収集運搬及び中間処理		
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画						
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
		対象者	市民			事業期間	平成9年度～		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
	・月2回収集 ・収集量 308 t ・処理量 345 t（資源回収所・クリーンセンター直接搬入分の37 tを含む）		・月2回収集 ・収集量 307 t ・処理量 343 t（資源回収所・クリーンセンター直接搬入分の36 tを含む）		・月2回収集 ・収集量 304 t ・処理量 342 t（資源回収所・クリーンセンター直接搬入分の38 tを含む）		・月2回収集 ・収集量 304 t ・処理量 342 t		
	成果	ペットボトルのボトルt o ボトルリサイクルに関する協定に基づき、適正に水平リサイクルを実施することができた。							
	課題	地域や集合住宅管理者等と連携を図り、ごみの適正な分別排出の一層の促進が求められる。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度
	活動指標	収集量（t）			308	307	304	304	304
	成果指標	処理量（t）			345	343	342	342	342
	他市との比較検証								
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
事業費 ①		31,506	32,053	33,668	34,778	合計	33,668,320 円		
財源		特定財源	3,366	3,646	4,229	4,401	役務費	4,113,520 円	
		一般財源	28,140	28,407	29,439	30,377	委託料	29,554,800 円	
職員人件費 ②		11,444	11,947	12,503	13,144				
総事業費（①+②）		42,950	44,000	46,171	47,922				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
		6年度までの累積事業費		0		資源売却収入			
		8年度以降の事業費見込		0					

会計名			プラスチック製容器包装収集処理事業				担当部		産業環境部		
一般会計							担当課		ごみ減量推進課		
款	項	目					担当係		減量・収集係		
4	2	2									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業環境								
		基本施策	環境								
		施策の内容	循環型社会の形成推進								
	目的	プラスチック製容器包装を分別収集処理し、ごみの減量やリサイクルの推進を図る。				主たる内容	○プラスチック製容器包装の収集運搬及び中間処理				
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画								
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
	対象者		市民			事業期間	平成13年度～				
実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績			6年度実績			7年度計画		
	・週1回収集 ・収集量 1,141 t ・処理量 1,160 t（資源回収所直接搬入分の19 tを含む）		・週1回収集 ・収集量 1,078 t ・処理量 1,093 t（資源回収所直接搬入分の15 tを含む）			・週1回収集 ・収集量 1,101 t ・処理量 1,120 t（資源回収所直接搬入分の19 tを含む）			・週1回収集 ・収集量 1,101 t ・処理量 1,120 t		
	成果	ごみの発生抑制やプラスチック製容器包装のリサイクルを推進し、可燃ごみへの排出量を減少させることができた。									
	課題	地域や集合住宅管理者等と連携を図り、ごみの適正な分別排出の一層の促進が求められる。									
	指標名称（単位）					実績値			目標値		
						4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	活動指標	収集量（t）				1,141	1,078	1,101	1,101	1,101	
	成果指標	処理量（t）				1,160	1,093	1,120	1,120	1,120	
	他市との比較検証										
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
事業費 ①		76,196	78,293	80,724	86,793	合計	80,723,531 円				
財源		特定財源	39,705	16,166	7,304	9,846	役務費	28,100,157 円			
		一般財源	36,491	62,127	73,420	76,947	委託料	52,623,374 円			
職員人件費 ②		3,200	3,836	4,181	4,292						
総事業費（①+②）		79,396	82,129	84,905	91,085						
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0		資源売却収入					
		8年度以降の事業費見込		0							

会計名			紙製容器包装収集処理事業				担当部	産業環境部	
一般会計							担当課	ごみ減量推進課	
款	項	目					担当係	減量・収集係	
4	2	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業環境						
		基本施策	環境						
		施策の内容	循環型社会の形成推進						
	目的	紙製容器包装を分別収集処理し、ごみの減量やリサイクルの推進を図る。				主たる内容	〇紙製容器包装の収集運搬及び中間処理		
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画						
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
		対象者	市民			事業期間	平成16年度～		
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他							
BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
	・月2回収集 ・収集量 216 t ・処理量 219 t（資源回収所直接搬入分の6 tを含み、誤排出の3 tを除く）		・月2回収集 ・収集量 204 t ・処理量 211 t（資源回収所直接搬入分の9 tを含み、誤排出の2 tを除く）		・月2回収集 ・収集量 198 t ・処理量 205 t（資源回収所直接搬入分の10 tを含み誤排出の3 tを除く）		・月2回収集 ・収集量 198 t ・処理量 205 t		
	成果	ごみの発生抑制や紙製容器包装のリサイクルを推進し、分別意識を向上させることができた。							
	課題	地域や集合住宅管理者等と連携を図り、ごみの適正な分別排出の一層の促進が求められる。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度
	活動指標	収集量（t）			216	204	198	198	198
	成果指標	処理量（t）			219	211	205	205	205
	他市との比較検証								
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
事業費 ①		7,996	7,883	21,307	31,201	合計	21,306,896 円		
財源		特定財源	0	0	0	0	委託料	21,306,896 円	
		一般財源	7,996	7,883	21,307	31,201			
職員人件費 ②		904	921	956	2,413				
総事業費（①＋②）		8,900	8,804	22,263	33,614				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
		6年度までの累積事業費		0					
		8年度以降の事業費見込		0					

会計名			紙類回収事業				担当部		産業環境部	
一般会計							担当課		ごみ減量推進課	
款	項	目					担当係		減量・収集係	
4	2	2								

PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業環境					
		基本施策	環境					
		施策の内容	循環型社会の形成推進					
		目的	紙類を分別収集し、可燃ごみの減量やリサイクルの推進を図る。			主たる内容	○不燃（資源）ごみステーションにおける紙類（新聞・雑誌・段ボール）の分別収集	
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画					
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	対象者	市民		事業期間	平成21年度～			
		実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他					
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績	5年度実績		6年度実績		7年度計画	
			・月2回収集 ・収集量 419 t		・月2回収集 ・収集量 384 t		・月2回収集 ・収集量 355 t	
成果			ステーション収集（約2,400箇所、月2回）による、排出の利便性を高め、可燃ごみに混入されていた紙類の分別排出の促進が図られた。					
課題			可燃ごみとしての排出を減少させるために、継続的に周知啓発を進め、資源物の分別排出の徹底を図ることが求められる。					
指標名称（単位）			実績値			目標値		
			4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
活動指標		収集量（t）		419	384	355	355	355
指標								
他市との比較検証		安城市では、本市と同様に紙類のステーション収集（約2,800箇所）を実施している。 碧南市・高浜市では、拠点回収（約100～120箇所）であり、知立市では、市による収集は行っていない。						
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳
	事業費①		5,110	19,426	16,742	24,891	合計	16,742,000 円
	財源	特定財源	5,110	19,426	13,952	24,891	委託料	16,742,000 円
		一般財源	0	0	2,790	0		
	職員人件費②		1,732	2,049	2,230	1,296		
	総事業費（①＋②）		6,842	21,475	18,972	26,187		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称		
		6年度までの累積事業費		0		資源売却収入		
		8年度以降の事業費見込		0				

会計名			粗大ごみ戸別収集業務事業				担当部		産業環境部	
一般会計							担当課		ごみ減量推進課	
款	項	目					担当係		減量・収集係	
4	2	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業環境							
		基本施策	環境							
		施策の内容	循環型社会の形成推進							
	目的	粗大ごみを処理場へ直接搬入できない市民に対し、有料で戸別収集を行うことで、ごみの減量・適正排出及びリサイクルの推進を図る。					主たる内容	○粗大ごみの戸別有料収集		
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画							
		根拠法令	刈谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例							
	対象者		市民			事業期間	平成3年度～			
実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
	・週1回収集 ・収集個数 3,057個 ・収分量 76 t		・週1回収集 ・収集個数 2,879個 ・収分量 64 t		・週1回収集 ・収集個数 2,909個 ・収分量 64 t		・週1回収集 ・収集個数 2,900個 ・収分量 64 t			
	成果	戸別収集の受付を、専用電話により土・日曜日、祝日も行うとともに、粗大ごみ処理券をコンビニエンスストア等（6年度は43店舗）で販売し、市民の利便性の向上を図ることができた。								
	課題	リサイクルショップやフリーマーケットの活用などの啓発に努め、不用品の再使用の促進が求められる。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	活動指標	収集量（t）			76	64	64	64	64	
	指標									
	他市との比較検証	処理しなければならないごみの1人1日当たりの排出量（4年度838g⇒5年度796g）は県平均（4年度709g⇒5年度677g）を上回っており、一層のごみの発生抑制及び適正な分別排出の促進を図る必要がある。								
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
事業費 ①		2,046	1,967	2,133	2,468	合計	2,132,855 円			
財源		特定財源	2,046	1,967	1,831	2,468	需用費	175,945 円		
		一般財源	0	0	302	0	役務費	232,880 円		
職員人件費 ②		14,531	14,809	15,370	16,845	委託料	1,724,030 円			
総事業費（①+②）		16,577	16,776	17,503	19,313					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0		粗大ごみ処理手数料				
	8年度以降の事業費見込		0							

会計名			不燃物埋立場資源回収指導事業				担当部		産業環境部	
一般会計							担当課		ごみ減量推進課	
款	項	目					担当係		資源・管理係	
4	2	2								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業環境							
		基本施策	環境							
		施策の内容	循環型社会の形成推進							
	目的	資源の回収拠点を常設することにより、自己搬入の利便性を図る。				主たる内容	不燃物埋立場における資源の回収を指導する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画							
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
	対象者		市民			事業期間	平成13年度～			
実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
	・資源回収所回収量 716 t		・資源回収所回収量 733 t		・資源回収所回収量 704 t		・資源回収所回収量 704 t			
	成果		再利用可能な資源を回収し市民のリサイクル意識や自己搬入の利便性を高めた。							
	課題		適正な分別指導の促進を更に図る。							
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	成果指標	資源回収所回収量（t）				716	733	704	704	704
	指標									
	他市との比較検証		近隣市（安城市、知立市など）においても、資源ごみの拠点回収を行っている。							
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
事業費①		13,372	13,371	13,231	16,527	合計	13,230,768 円			
財源		特定財源	13,372	13,371	11,113	16,527	需用費	99,000 円		
		一般財源	0	0	2,118	0	役務費	9,569,968 円		
職員人件費②		4,141	5,371	5,575	5,669	委託料	3,561,800 円			
総事業費（①+②）		17,513	18,742	18,806	22,196					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0		資源売却収入				
		8年度以降の事業費見込		0						

会計名			犬猫等死体回収業務委託事業				担当部		産業環境部	
一般会計							担当課		ごみ減量推進課	
款	項	目					担当係		減量・収集係	
4	2	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業環境							
		基本施策	環境							
		施策の内容	循環型社会の形成推進							
	目的	道路等の公共用地における小動物の死体回収を迅速かつ効率的に行い、公衆衛生の保持及び環境の美化を図る。				主たる内容	○小動物の死体回収業務委託			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
	対象者		市民			事業期間	平成19年度～			
実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画 実施	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
	・回収件数 383件 うち土・日曜日、祝日及び年末の回収件数55件		・回収件数 363件 うち土・日曜日、祝日及び年末の回収件数54件		・回収件数 368件 うち土・日曜日、祝日及び年末の回収件数52件		回収件数 368件 うち土・日曜日、祝日及び年末の回収件数52件			
	成果		市役所閉庁日である土・日曜日、祝日等にも回収を行い、迅速な対応を図ることができた。							
	課題		野良猫等の発生抑制が求められる。							
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	活動指標	回収件数（件）			383	363	368	368	368	
	指標									
	他市との比較検証		安城市、知立市などにおいても、同様の回収業務を業者委託している。							
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
事業費 ①		1,812	1,746	1,945	2,264	合計	1,945,240 円			
財源		特定財源	0	0	0	0	委託料	1,945,240 円		
		一般財源	1,812	1,746	1,945	2,264				
職員人件費 ②		1,054	1,074	1,115	1,296					
総事業費（①＋②）		2,866	2,820	3,060	3,560					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0						
	8年度以降の事業費見込		0							

会計名			ごみ指定袋購入事業				担当部	産業環境部	
一般会計							担当課	ごみ減量推進課	
款	項	目					担当係	減量・収集係	
4	2	2							

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業環境				
		基本施策	環境				
		施策の内容	循環型社会の形成推進				
	目的	可燃ごみ等の指定袋を作製し、減量・分別排出及びリサイクルの推進を図る。			主たる内容	○可燃ごみ等指定袋の作製	
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画				
		根拠法令	刈谷市可燃ごみ等指定袋制度要領				
	対象者		市民		事業期間	平成11年度～	
実施方法		■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他					

BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
	<作製数>		<作製数>		<作製数>		<作製数>	
	・可燃（大） 7,600,000枚		・可燃（大） 8,000,000枚		・可燃（大） 8,752,000枚		・可燃（大） 6,800,000枚	
	・可燃（小） 1,500,000枚		・可燃（小） 1,575,000枚		・可燃（小） 1,750,000枚		・可燃（小） 1,400,000枚	
	・可燃（極小） 350,000枚		・可燃（極小） 395,000枚		・可燃（極小） 421,000枚		・可燃（極小） 330,000枚	
	・プラ（大） 1,460,000枚		・プラ（大） 1,550,000枚		・プラ（大） 1,662,000枚		・プラ（大） 1,350,000枚	
	・プラ（小） 310,000枚		・プラ（小） 325,000枚		・プラ（小） 365,000枚		・プラ（小） 300,000枚	
	・紙製（大） 131,000枚		・紙製（大） 138,000枚		・紙製（大） 148,000枚		・紙製（大） 110,000枚	
	・紙製（小） 50,500枚		・紙製（小） 52,000枚		・紙製（小） 54,000枚		・紙製（小） 55,000枚	
	合 計 11,401,500枚		合 計 12,035,000枚		合 計 13,152,000枚		合 計 10,345,000枚	
成果		ごみの排出に必要な指定袋を不足なく作成することができた。						
課題		一層の指定袋の円滑な流通と適正な在庫管理が求められる。						
指標名称（単位）				実績値			目標値	
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度
活動指標	作成数合計（枚）			11,401,500	12,035,000	13,152,000	10,345,000	10,000,000
成果指標	販売数合計（枚）			11,401,500	12,035,000	13,152,000	10,345,000	10,000,000
他市との比較検証		処理しなければならないごみの1人1日当たりの排出量（4年度838g⇒5年度796g）は県平均（4年度709g⇒5年度677g）を上回っており、一層のごみの発生抑制及び適正な分別排出の促進を図る必要がある。						

C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		72,140	67,133	88,711	95,041	合計	88,711,019 円	
	財源	特定財源	62,973	63,575	6,515	95,041	需用費	88,673,419 円	
		一般財源	9,167	3,558	82,196	0	役務費	37,600 円	
	職員人件費 ②		1,054	1,074	1,115	1,701			
	総事業費（①＋②）		73,194	68,207	89,826	96,742			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
		6年度までの累積事業費		0		可燃ごみ指定袋売払収入			
		8年度以降の事業費見込		0					

会計名			有害ごみ処理事業				担当部		産業環境部	
一般会計							担当課		ごみ減量推進課	
款	項	目					担当係		資源・管理係	
4	2	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業環境							
		基本施策	環境							
		施策の内容	循環型社会の形成推進							
	目的	水銀等有害物質を含む廃棄物を適正に処理し、良好な環境の保全を図る。				主たる内容	水銀等の有害ごみ（使用済み乾電池、蛍光管及びスプレー缶）を適正処理及び資源化する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画							
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
	対象者		市民			事業期間		昭和59年度～		
実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
	・使用済み乾電池 40 t		・使用済み乾電池 37 t		・使用済み乾電池 42 t		・使用済み乾電池 42 t			
	・使用済み蛍光管 18 t		・使用済み蛍光管 15 t		・使用済み蛍光管 13 t		・使用済み蛍光管 13 t			
	・使用済みスプレー缶 19 t		・使用済みスプレー缶 21 t		・使用済みスプレー缶 22 t		・使用済みスプレー缶 22 t			
	成果		水銀を含む有害な廃棄物を、環境に悪影響を及ぼさないように適正に処理することができた。 使用済みスプレー缶排出時の穴開け作業による事故防止のため、穴を開けずに廃スプレー缶を安全に収集処理する体制を構築することができた。							
	課題									
C 事業コスト	指標名称（単位）		実績値			目標値				
			4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
	成果指標	使用済み乾電池・蛍光管処理量（t）	58	52	55	55	55			
	成果指標	スプレー缶処理量（t）	19	21	22	22	22			
	他市との比較検証		近隣市（安城市、知立市など）においても同様の有害ごみの収集を行っている。							
	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		14,207	13,708	14,557	18,483	合計	14,556,782 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	139,040 円		
		一般財源	14,207	13,708	14,557	18,483	委託料	14,308,002 円		
	職員人件費 ②		1,882	1,972	2,047	2,454	負担金、補助及び交付金	109,740 円		
総事業費（①+②）		16,089	15,680	16,604	20,937					
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称					
	6年度までの累積事業費		0							
	8年度以降の事業費見込		0							

会計名			廃棄物処理事業				担当部	産業環境部		
一般会計							担当課	ごみ減量推進課		
款	項	目					担当係	資源・管理係		
4	2	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業環境							
		基本施策	環境							
		施策の内容	循環型社会の形成推進							
	目的	不法投棄等の廃棄物を適正に処分するとともに、再利用可能な資源を分別回収し、埋場の延命を図る。				主たる内容	○不法投棄された家電四品目（テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機）の処理 ○パソコン、小型家電、硬質プラスチック等の処理 ○陶器及びガラス類のリユース又はリサイクル処理			
		位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画						
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
		対象者	市民		事業期間		～			
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		廃棄物の適正処理 ・家電四品目 25台 ・タイヤ 21本 ・消火器 34本 ・硬質プラスチック 102t ・発泡スチロール 242㎡ ・小型家電 135t ・ライター 2.3t 陶器リユース 23t 陶器等リサイクル 104t		廃棄物の適正処理 ・家電四品目 17台 ・タイヤ 0本 ・消火器 0本 ・硬質プラスチック 117t ・発泡スチロール 211㎡ ・小型家電 130t ・ライター 2t 陶器リユース 21t 陶器等リサイクル 138t		廃棄物の適正処理 ・家電四品目 5台 ・タイヤ 54本 ・消火器 0本 ・硬質プラスチック 156t ・発泡スチロール 209㎡ ・小型家電 121t ・ライター 2t 陶器リユース 16t 陶器等リサイクル 165t		廃棄物の適正処理 ・硬質プラスチック 143t ・発泡スチロール 500㎡ ・小型家電 135t ・ライター 2t 陶器リユース 22t 陶器等リサイクル 121t		
成果		不法投棄等の廃棄物（家電四品目・タイヤ・消火器など）を適正に処理することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
活動指標		埋立量（覆土含む）（t）			954	990	1,060	1,060	1,060	
成果指標		リサイクル率（%）			14.4	14.92	15.64	15.64	15.64	
		他市との比較検証								
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		8,600	10,093	13,373	17,968	合計	13,372,828 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	86,350 円		
		一般財源	8,600	10,093	13,373	17,968	役務費	17,660 円		
	職員人件費 ②		3,388	3,737	3,878	3,588	委託料	13,268,818 円		
	総事業費（①＋②）		11,988	13,830	17,251	21,556				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0						
8年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設管理事業				担当部		産業環境部	
一般会計							担当課		ごみ減量推進課	
款	項	目					担当係		資源・管理係	
4	2	2								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業環境							
		基本施策	環境							
		施策の内容	循環型社会の形成推進							
	目的	不燃物埋立場の業務管理を適正に行い、埋立場の延命化を図る。				主たる内容	〇不燃ごみの減量、再資源化、不燃物埋立場の適正管理			
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画							
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
	対象者		対象者を限定せず			事業期間	昭和47年度～			
実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
	・不燃ごみ（埋立処分分） 725 t		・不燃ごみ（埋立処分分） 638 t		・不燃ごみ（埋立処分分） 472 t		_____			
	成果		ごみ分別の徹底を図り、第2不燃物埋立場の延命に努めた。							
	課題		第2不燃物埋立場の能力を維持するため、適正に管理し更なる延命に努めていく。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	指標									
	指標									
	他市との比較検証		近隣市（安城市、知立市など）においても同様の一般廃棄物最終処分場を整備している。							
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
事業費 ①		37,351	38,834	47,737	46,263	合計	47,737,074 円			
財源		特定財源	66	59	65	217	需用費	19,984,175 円		
		一般財源	37,285	38,775	47,672	46,046	役務費	1,017,392 円		
職員人件費 ②		7,567	9,438	9,397	10,366	委託料	20,246,947 円			
総事業費（①+②）		44,918	48,272	57,134	56,629	使用料及び賃借料	11,310 円			
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称		原材料費	496,650 円	
		6年度までの累積事業費		0		ごみ埋立処分手数料		備品購入費	5,846,500 円	
		8年度以降の事業費見込		0				公課費	134,100 円	

会計名			施設改修事業				担当部	産業環境部		
一般会計							担当課	ごみ減量推進課		
款	項	目					担当係	資源・管理係		
4	2	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業環境							
		基本施策	環境							
		施策の内容	循環型社会の形成推進							
	目的	不燃物理立場において、施設への必要な修繕・改修等を行うことで、業務を適正に遂行できる状態を維持する。				主たる内容	○不燃物理立場浸出液処理施設の修繕 ○不燃物理立場及び資源回収所の修繕			
		位置づけ								
		関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画							
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	～			
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
・第1不燃物理立場浸出液処理施設修繕 ・第2不燃物理立場浸出液処理施設修繕 ・第1不燃物理立場減容機修繕 ・減容工場リフト倉庫等シャッター修繕 ・分別作業場改修工事 ・減容工場プラ分別ヤード飛散防止ネット取付工事		・第2不燃物理立場浸出液処理施設修繕 ・第1不燃物理立場ストックヤード修繕 ・不燃物理立場減容機等修繕及びヤード板取付工事 ・防草シート及びスポットクーラー設置工事 ・資源回収所シャッター修繕及びLED化取替工事		・第2不燃物理立場浸出液処理施設修繕 ・不燃物理立場減容機等修繕 ・減容工場換気窓修繕 ・シャッター修繕		・第2不燃物理立場浸出液処理施設修繕 ・不燃物理立場減容機等修繕 ・資源回収所看板取替修繕 ・予定地ポンプ修繕 ・受変電設備コンデンサ修繕				
成果		不燃物理立場浸出液処理施設の計画的な修繕を実施し、機器及び設備修繕により施設の処理能力の維持に努めた。								
課題		施設の老朽化に伴い修繕箇所、修繕の頻度とともに増加傾向にある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
活動指標										
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		29,619	41,140	35,354	26,000	合計	35,354,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	35,354,000 円		
		一般財源	29,619	41,140	35,354	26,000				
	職員人件費 ②		7,567	2,532	2,429	2,470				
	総事業費（①＋②）		37,186	43,672	37,783	28,470				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0						
8年度以降の事業費見込		0								

会計名			埋立ごみ分別事業				担当部	産業環境部		
一般会計							担当課	ごみ減量推進課		
款	項	目					担当係	資源・管理係		
4	2	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業環境							
		基本施策	環境							
		施策の内容	循環型社会の形成推進							
	目的	埋立場へ搬入される一般家庭から出る不燃ごみを場内で適正に分別して、埋立ごみを減量し、埋立場の延命を図る。				主たる内容	各家庭から収集した不燃ごみを埋立場で手選別した後、金属等リサイクルするものと可燃ごみ、硬質プラスチック及び埋立ごみに分別し、適正に処理する。			
		位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画						
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
		対象者	市民		事業期間		平成17年度～			
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		・埋立ごみ 266 t ・空き缶・金属類 169 t ・破碎対象物 32 t ・可燃物 99 t ・硬質プラスチック 102 t ・小型家電 99 t 合計 767 t		・埋立ごみ 232 t ・空き缶・金属類 161 t ・破碎対象物 32 t ・可燃物 97 t ・硬質プラスチック 117 t ・小型家電 94 t 合計 733 t		・埋立ごみ 185 t ・空き缶・金属類 156 t ・破碎対象物 33 t ・可燃物 91 t ・硬質プラスチック 126 t (上記、不燃ごみ分別作業分に限る) ・小型家電 77 t 合計 668 t		・埋立ごみ 185 t ・空き缶・金属類 156 t ・破碎対象物 33 t ・可燃物 91 t ・硬質プラスチック 126 t (上記、不燃ごみ分別作業分に限る) ・小型家電 77 t 合計 668 t		
成果		埋立ごみの削減と適正な分別を実施し、埋立場の延命に寄与した。								
課題		不燃ごみの分別方法の周知及び不燃ごみの削減。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
成果指標		不燃ごみ分別量 （埋立ごみ以外のもの）（t）				501	501	483	483	483
指標										
他市との比較検証		本事業は刈谷市独自の事業である。								
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		39,435	39,212	39,031	40,493	合計	39,031,300 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	39,031,300 円		
		一般財源	39,435	39,212	39,031	40,493				
	職員人件費 ②		1,656	1,972	1,553	1,498				
	総事業費（①＋②）		41,091	41,184	40,584	41,991				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0						
8年度以降の事業費見込		0								

会計名			リサイクルプラザ運営事業				担当部		産業環境部	
一般会計							担当課		ごみ減量推進課	
款	項	目					担当係		資源・管理係	
4	2	2								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業環境							
		基本施策	環境							
		施策の内容	循環型社会の形成推進							
	目的	ごみの減量及びリサイクルの推進並びにリサイクル意識の啓蒙。				主たる内容	かりや消費者生活学校が行うリサイクルプラザ・マザーズ工房の運営に対し補助金を交付する。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	かりや消費者生活学校			事業期間	平成10年度～			
	実施方法	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	4年度実績	・リサイクルショップ		・リサイクルショップ		・リサイクルショップ		・リサイクルショップ		
		入場者数 7,213人		入場者数 7,853人		入場者数 7,956人		入場者数 8,000人		
		出品点数 29,906点		出品点数 29,941点		出品点数 29,875点		・補助金額 2,300,000円		
		販売点数 13,696点		販売点数 14,291点		販売点数 13,860点				
	・マザーズ工房	販売金額 2,127,970円		販売金額 2,297,780円		販売金額 2,380,500円				
		布類回収量 743kg		布類回収量 640kg		布類回収量 534kg				
		傘修理数 28本		傘修理数 45本		傘修理数 34本				
		売上金額 8,100円		売上金額 10,485円		売上金額 10,400円				
	成果	・補助金額 2,300,000円		・補助金額 2,300,000円		・補助金額 2,300,000円				
		かりや消費者生活学校と協働し、リサイクルショップやマザーズ工房を通して、ごみの減量化、リサイクルの促進ができた。								
課題	民間のリサイクルショップやインターネットオークション等と競合する中で、展示・販売方法及び広報手段を工夫して利用者の利便性を向上させる必要がある。									
指標名称（単位）					実績値			目標値		
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	成果指標	リサイクルショップ入場者数（人）			7,213	7,853	7,956	8,000	8,200	
	指標									
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		3,552	7,071	3,380	3,473	合計 3,380,457 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費 86,350 円			
		一般財源	3,552	7,071	3,380	3,473	役務費 37,839 円			
	職員人件費 ②		414	422	438	445	委託料 956,268 円			
	総事業費（①＋②）		3,966	7,493	3,818	3,918	負担金、補助及び交付金 2,300,000 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0						
		8年度以降の事業費見込		0						

会計名			施設管理事業				担当部		産業環境部										
一般会計							担当課		ごみ減量推進課										
款							項目		担当係		資源・管理係								
4							2		3										
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野		産業環境															
		基本施策		環境															
		施策の内容		循環型社会の形成推進															
	目的		環境センターの業務管理を適正に行い、し尿及び浄化槽汚泥処理の効率化を図る。				主たる内容		○環境センターの管理業務の充実及び効率化										
	位置づけ		関連計画								刈谷市一般廃棄物処理基本計画								
	根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律																
	対象者		対象者を限定せず		事業期間						平成16年度～								
	実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他																
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画											
		・し尿 824kl ・浄化槽汚泥 19,262kl		・し尿 754kl ・浄化槽汚泥 19,704kl ・改修設計業務委託		・し尿 732kl ・浄化槽汚泥 20,263kl		・し尿 732kl ・浄化槽汚泥 20,263kl											
成果		環境センターの施設管理業務委託を行い、し尿及び浄化槽汚泥処理を円滑に遂行するとともに、焼却残渣の運搬及び処理について業務委託を適正に行った。																	
課題		施設を設置してから15年を超えているため、施設の延命化を念頭に建物・機器の維持管理計画が必要となる。																	
指標名称（単位）				実績値			目標値												
				4年度			5年度			6年度			7年度			9年度			
指標																			
指標																			
他市との比較検証		近隣市（安城市、知立市など）においても市単独または一部事務組合にて同様のし尿処理場を整備している。																	
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）		5年度（決算）		6年度（決算）		7年度（予算）		6年度事業費内訳							
	事業費①		270,116		291,737		305,235		311,863		合計 305,234,861 円								
	財源	特定財源	8,199		7,857		11,587		10,611		需用費 30,781,867 円								
		一般財源	261,917		283,880		293,648		301,252		役務費 125,875 円								
	職員人件費②		414		537		557		567		委託料 271,036,338 円								
	総事業費（①+②）		270,530		292,274		305,792		312,430		使用料及び賃借料 3,290,781 円								
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称													
		6年度までの累積事業費		0		し尿処理手数料													
		8年度以降の事業費見込		0															

会計名			し尿収集処理事業				担当部		産業環境部			
一般会計							担当課		ごみ減量推進課			
款							項目		担当係		資源・管理係	
4							2		3			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野		産業環境								
		基本施策		環境								
		施策の内容		循環型社会の形成推進								
	目的		くみ取り対象世帯からのし尿収集業務を行い、公衆衛生の向上を図る。			主たる内容		くみ取り対象世帯からし尿を収集し、適切に処理する。				
	位置づけ	関連計画		刈谷市一般廃棄物処理基本計画								
		根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
	対象者		市民			事業期間		昭和28年度～				
	実施方法		☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画				
・し尿くみ取り量 824kl		・し尿くみ取り量 754kl		・し尿くみ取り量 732kl		・し尿くみ取り量 732kl						
成果		くみ取り対象世帯・仮設トイレからし尿を適切に収集した。										
課題		し尿処理手数料の徴収について、納付書又は口座引落としの方法しかなく、それ以外の方法を検討する必要がある。										
指標名称（単位）				実績値		目標値						
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度				
指標												
指標												
他市との比較検証		近隣市（安城市、知立市など）においても同様の事業を行っている。										
C 事業コスト		単位：千円		4年度 （決算）	5年度 （決算）	6年度 （決算）	7年度 （予算）	6年度 事業費内訳				
	事業費 ①		44,128	44,035	44,003	45,314	合計	44,003,351 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	44,003,351 円				
		一般財源	44,128	44,035	44,003	45,314						
	職員人件費 ②		2,296	2,340	2,429	2,470						
	総事業費（①+②）		46,424	46,375	46,432	47,784						
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称						
		6年度までの累積事業費		0								
		8年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設管理事業				担当部		産業環境部	
一般会計							担当課		ごみ減量推進課	
款	項	目					担当係		資源・管理係	
4	2	4								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業環境							
		基本施策	環境							
		施策の内容	循環型社会の形成推進							
	目的	清掃センターの施設管理の効率化を図る。			主たる内容	〇清掃センターの施設管理の効率化				
	位置づけ	関連計画	刈谷市一般廃棄物処理基本計画							
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
	対象者		対象者を限定せず			事業期間	昭和51年度～			
実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画			
	・消防設備保守管理委託 ・樹木管理委託 ・建物清掃委託 ・空調設備保守管理委託		・消防設備保守管理委託 ・建物清掃委託 ・空調設備保守管理委託 ・空調機取付工事		・消防設備保守管理委託 ・樹木管理委託 ・建物清掃委託 ・空調設備保守管理委託		・消防設備保守管理委託 ・樹木管理委託 ・建物清掃委託 ・空調設備保守管理委託			
	成果	施設運営に支障がないよう保守委託等による適切な施設管理及び経年劣化による洗濯機等修繕を行った。								
	課題	施設の効率的な管理を行うとともに、紙媒体で管理する文書の削減に努める必要がある。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	指標									
	指標									
	他市との比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
事業費 ①		4,568	5,239	4,965	5,697	合計	4,965,419 円			
財源		特定財源	1,493	1,972	1,879	1,707	需用費	1,969,564 円		
		一般財源	3,075	3,267	3,086	3,990	役務費	388,219 円		
職員人件費 ②		414	422	438	810	委託料	2,434,718 円			
総事業費（①+②）		4,982	5,661	5,403	6,507	使用料及び賃借料	172,918 円			
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料				
		8年度以降の事業費見込		0						